CASBEE® あいち[戸建]　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-あいち[戸建]（2011年度版）　■使用評価ソフト：CASBEE_DH-NC_2011v1.1_aichi

1-1 建物概要

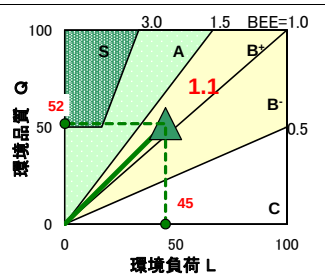
建物名称	山下　博司様邸		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2014年5月	予定		持ち込み家電等	仮
建設地	愛知県知立市南陽二丁目83番4、82番1			外構の仕様	仮
用途地域	第一種中高層住居専用地域	確定	〈備考〉		
省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	Ⅳ				
構造・構法	木造・軸組構法	確定			
階数	地上2階建て				
敷地面積	165 ㎡	確定	評価の実施日	2014年1月23日	
建築面積	72 ㎡	確定	作成者	小嶋　三典	
延床面積	134 ㎡	確定	確認日	2014年1月23日	
世帯人数	4人	確定	確認者	小嶋　三典	

1-2 外　観

外観パース等

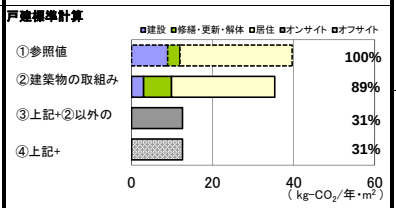
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C:



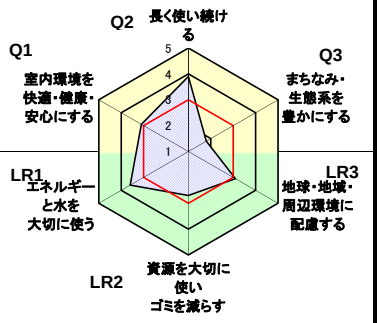
2-2 ライフサイクルCO2（温暖化影響チャート）

~0%: ☆☆☆☆☆ ~50%: ★☆☆☆ ~75%: ★★☆☆ ~100%: ★★☆ 100%超: ★



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

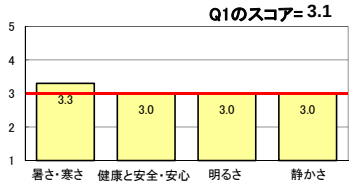
2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



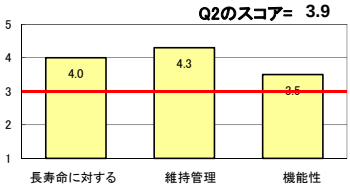
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　Q のスコア= 3.0

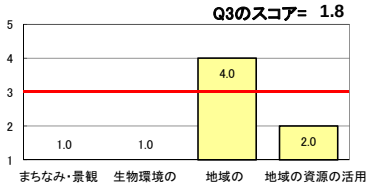
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.1



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.9

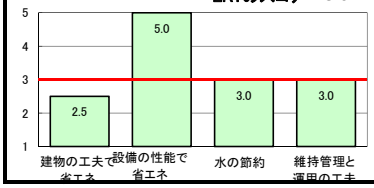


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.8

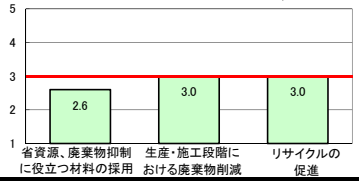


LR 環境負荷低減性　LR のスコア= 3.1

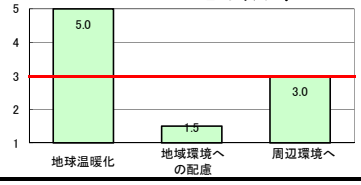
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.6



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.7



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.1



3 重点項目

①地球温暖化への配慮　5.0

③敷地内の緑化　1.0

緑化面積の比率
緑化面積／((1−指定建ぺい率)×敷地面積)

0.0 %

②資源の有効活用　3.2

④地域材の活用　1.0

地域性のある材料

なし

地域で産出される木材資源

なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。
①地球温暖化への配慮
　LR−3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
　Q−2 長く使い続ける、LR−2 資源を大切に使いゴミを減らす

③敷地内の緑化
　Q−3 2.1 敷地内の緑化

④地域材の活用
　Q−3 4 地域の資源の活用と住文化の継承

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEあいち[戸建]の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される（「戸建標準計算」の場合）

CASBEE-あいち[戸建](2011年度版)
山下 博司様邸

■使用評価マニュアル：CASBEE-あいち[戸建](2011年度版)
■評価ソフト：CASBEE_DH-NC_2011v1.1_aichi

スコアシート

配慮項目	県独自基準	重点項目	具体的な取組一覧	評価点	重み係数	全体
Q すまいの環境品質						**3.0**
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする					**0.45**	**3.1**
1 暑さ・寒さ				**3.3**	0.50	**3.3**
1.1 基本性能				**3.6**	0.50	
1 断熱性能の確保			日本住宅性能表示制度により判定	4.0	0.65	
2 日射の調整機能			ガラスの種類を遮熱型低放射複層ガラスとすることで日射侵入率を抑えている	3.0	0.35	
1.2 夏の暑さを防ぐ				**3.0**	0.25	
1 風を取り込み、熱気を逃がす			二方向の開口部を設けている	3.0	0.50	
2 適切な冷房計画			部屋の大きさにあったルームエアコンを設置	3.0	0.50	
1.3 冬の寒さを防ぐ				**3.0**	0.25	
1 適切な暖房計画			部屋の大きさにあったルームエアコンを設置	3.0	1.00	
2 健康と安全・安心				**3.0**	0.30	**3.0**
2.1 化学汚染物質の対策			日本住宅性能表示制度により判定	**5.0**	0.33	
2.2 適切な換気計画			適切な換気量の換気扇を設置している	**3.0**	0.33	
2.3 犯罪に備える			－	**1.0**	0.33	
3 明るさ				**3.0**	0.10	**3.0**
3.1 昼光の利用			単純開口率24%以上	**3.0**	1.00	
4 静かさ			－	**3.0**	0.10	**3.0**
Q2 長く使い続ける				－	**0.30**	**3.9**
1 長寿命に対する基本性能		②		**4.0**	0.50	**4.0**
1.1 躯体			日本住宅性能表示制度により判定	**5.0**	0.30	
1.2 外壁材			サイディングとし40年の耐用年数としている	**3.0**	0.10	
1.3 屋根材、陸屋根			ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板とし30年の耐用年数としている	**3.0**	0.10	
1.4 自然災害に耐える			日本住宅性能表示制度により判定	**5.0**	0.30	
1.5 火災に備える				**2.4**	0.20	
1 火災に耐える構造			日本住宅性能表示制度により判定	1.0	0.65	
2 火災の早期感知			日本住宅性能表示制度により判定	5.0	0.35	
2 維持管理				**4.3**	0.25	**4.3**
2.1 維持管理のしやすさ			日本住宅性能表示制度により判定	**5.0**	0.65	
2.2 維持管理の計画・体制			定期点検を行い、維持・補修・交換等がある場合には行う	**3.0**	0.35	
3 機能性				**3.5**	0.25	**3.5**
3.1 広さと間取り			133．74㎡として判定	**5.0**	0.50	
3.2 バリアフリー対応			日本住宅性能表示制度により判定	**2.0**	0.50	
Q3 まちなみ・生態系を豊かにする				－	**0.25**	**1.8**
1 まちなみ・景観への配慮			－	**1.0**	0.30	**1.0**
2 生物環境の創出				**1.0**	0.30	**1.0**
2.1 敷地内の緑化		③	－	**1.0**	0.65	
2.2 生物の生息環境の確保			－	**1.0**	0.35	
3 地域の安全・安心			駐車場部分において消火活動の行えるスペースを確保した	**4.0**	0.20	**4.0**
4 地域の資源の活用と住文化の継承	●	④	－	**2.0**	**0.20**	**2.0**

CASBEE-あいち[戸建](2011年度版)
山下 博司様邸

■使用評価マニュアル：CASBEE-あいち[戸建](2011年度版)
■評価ソフト：CASBEE_DH-NC_2011v1.1_aichi

LR すまいの環境負荷低減性				-	-	**3.1**
LR1 エネルギーと水を大切に使う				**-**	**0.35**	**3.6**
1 建物の工夫で省エネ				**2.5**	0.35	**2.5**
1.1 建物の熱負荷抑制			日本住宅性能表示により判定	**4.0**	0.50	
1.2 自然エネルギー利用			―	**1.0**	0.50	
2 設備の性能で省エネ				**5.0**	0.40	**5.0**
2.1 暖冷房設備				**5.0**	0.27	
1 暖房設備	●		一般的なルームエアコンとしている	3.0	0.80	
2 冷房設備			一般的なルームエアコンとしている	3.0	0.20	
2.2 給湯設備				**5.0**	0.37	
1 給湯機器			給湯器はエコジョーズを採用	5.0	0.80	
2 浴槽の断熱			断熱タイプの浴槽のシステムバス	3.0	0.10	
3 節湯型機器及び給湯配管			ヘッダー方式給湯配管としている	3.0	0.10	
2.3 照明・家電・厨房機器			LED照明、IHクッキングヒーターを採用	**3.0**	0.25	
2.4 換気設備			一般の換気システムを採用している	**3.0**	0.05	
2.5 エネルギー利用効率化設備				**5.0**	0.06	
1 家庭用コージェネレーションシステム			―	3.0	1.00	
2 太陽光発電システム			システム容量　6.0kW	0.6		
3 水の節約				**3.0**	0.15	**3.0**
3.1 節水型設備			食洗機を採用している	**3.0**	0.75	
3.2 雨水の利用			―	**3.0**	0.25	
4 維持管理と運用の工夫				**3.0**	0.10	**3.0**
4.1 住まい方の提示			設備の取扱説明書を手渡している	**3.0**	0.50	
4.2 エネルギーの管理と制御			―	**3.0**	0.50	
LR2 資源を大切に使いゴミを減らす				**―**	**0.35**	**2.7**
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用				**2.6**	0.60	**2.6**
1.1 構造躯体				**3.0**	0.30	
1 木質系住宅			―	3.0	1.00	
2 鉄骨系住宅			―	3.0	-	
3 コンクリート系住宅			―	3.0	-	
1.2 地盤補強材・地業・基礎			―	**3.0**	0.20	
1.3 外装材			屋根には鋼板、外壁には窯業系サイディングを採用	**3.0**	0.20	
1.4 内装材		②	内壁下地及び天井下地にせっこうボードを採用	**1.0**	0.20	
1.5 外構材			―	**3.0**	0.10	
2 生産・施工段階における廃棄物削減				**3.0**	0.30	**3.0**
2.1 生産段階（構造躯体用部材）			―	**3.0**	0.33	
2.2 生産段階（構造躯体用以外の部材）			―	**3.0**	0.33	
2.3 施工段階			―	**3.0**	0.33	
3 リサイクルの促進				**3.0**	0.10	**3.0**
3.1 使用材料の情報提供			―	**3.0**	1.00	
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する				**―**	**0.30**	**3.1**
1 地球温暖化への配慮		①		**5.0**	0.33	**5.0**
2 地域環境への配慮				**1.5**	0.33	**1.5**
2.1 地域インフラの負荷抑制			―	**2.0**	0.50	
2.2 既存の自然環境の保全			―	**1.0**	0.50	
3 周辺環境への配慮				**3.0**	0.33	**3.0**
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減			―	**3.0**	0.50	
3.2 周辺温熱環境の改善			―	**3.0**	0.50	

■LR1 太陽光発電による補正後のランクとスコア

2 設備の性能で省エネ			**5.0**	0.40	**5.0**
2.1 暖冷房設備			**5.0**	0.27	
1 暖房設備			5.0	0.80	
2 冷房設備			5.0	0.20	
2.2 給湯設備			**5.0**	0.37	
1 給湯機器			5.0	0.80	
2 浴槽の断熱			5.0	0.10	
3 節湯型機器及び給湯配管			5.0	0.10	
2.3 照明・家電・厨房機器			**5.0**	0.25	
2.4 換気設備			**5.0**	0.05	
2.5 エネルギー利用効率化設備			**5.0**	0.06	
1 家庭用コージェネレーションシステム			5.0	1.00	
2 太陽光発電システム			-	-	

重点項目スコアシート 予定

山下 博司様邸

■使用評価マニュアル： **CASBEE-あいち[戸建]（2011年度版）**

■評価ソフト： CASBEE_DH-NC_2011v1.1_aichi

重点項目（配慮項目）			評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
①	**地球温暖化への配慮**				5.0
	LR3-1	地球温暖化への配慮	5.0	0.10	
②	**資源の有効活用**				3.2
	Q2	長く使い続ける	3.9	0.30	
	LR2	資源を大切に使いゴミを減らす	2.7	0.35	
③	**敷地内の緑化**				1.0
	Q3-2.1	敷地内の緑化	1.0	0.05	
④	**地域材の活用**		（評価ポイント）		1.0
	Q3-4	地域の資源の活用と住文化の継承	1.0	0.05	

■重点項目スコア算出式
各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
　重点項目スコア＝各配慮項目の評価点

②資源の有効活用　重点項目スコア＝ $\frac{\text{（評価点×全体に対する重み）の総和}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用
　重点項目スコア＝(No.3.4.5のポイント数＋2)

■ 環境設計の配慮事項

■建物名称　山下 博司様邸

設計上の配慮事項	
総合	設計性能評価を基準に、より快適でありながらエネルギーを大切にするような計画とした。
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	快適性については、建物の断熱性を高めて、快適な室内環境となるようにした。健康については、ホルムアルデヒド対策等級を最高等級とすることで室内の空気汚染を防ぎ、配慮した。安心については室内の段差を極力なくすことで室内の転倒等の事故を防止できるようにした。
Q2 長く使い続ける	長く使い続けることについては、建物の劣化を防止するため、設計性能評価の劣化対策等級の最高等級を取得した。
Q3 まちなみ・生態系を豊かにする	駐車場部分において消火活動の行えるスペースを確保した。
LR1 エネルギーと水を大切に使う	エネルギーについては、建物の省エネルギー性を高めるために、設計性能評価の省エネルギー対策等級の最高等級を取得した。太陽光発電システムにより、建物全体の消費エネルギーを削減します。
LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	資源を大切に使い、ゴミを減らすために、建材資材の一部を資源を再利用したものを用いるようにした。
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する	騒音・振動・排気・排熱の発生源が、隣接する住宅等に著しい影響を与えないよう一般的な配慮を行っている。
その他	